



2020年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社ヒマラヤ
代 表 者 名 代表取締役社長 後藤 達也
(コード番号 7514 東証・名証第1部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 大野 輝文
(TEL 058 - 271 - 6622 (代表))

2020年8月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年9月26日に公表いたしました2020年8月期の第2四半期累計期間(2019年9月1日~2020年2月29日)の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績値との差異

(1) 2020年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異
(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,020	百万円 220	百万円 150	百万円 175	円 銭 14.20
実績値(B)	29,408	549	481	386	31.37
増減額(B-A)	611	329	331	211	
増減率(%)	2.0				
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年8月期第2四半期)	32,404	77	20	83	6.82

(2) 2020年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異
(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,020	百万円 150	百万円 175	円 銭 14.20
実績値(B)	29,405	467	372	30.22
増減額(B-A)	614	317	197	
増減率(%)	2.0			
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年8月期第2四半期)	32,390	31	94	7.68

2. 差異の理由

消費税率引き上げによる個人消費の低下の影響が続くなか、記録的な暖冬、少雪の年となりました。

これにより、スキー・スノーボード市場が著しく低迷し、他カテゴリー全般でも防寒系衣料、雑貨全般の在庫消化負担が高まった結果、売上高は計画比2.0%減少し、売上総利益率は計画比2.1ポイント低下しました。

この状況に対して、販売費及び一般管理費の抑制を行ったものの、売上総利益額の低下を補うには至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに計画を下回りました。

以 上